

組合だより

J A

ホーリー

第

回 全日本ホル斯坦共進会 北海道大会

16TH ALL JAPAN HOLSTEIN GRAND PRIX IN HOKKAIDO

令和7年11月13日発行
発行：おかやま酪農業協同組合
責任者：小窓 義史
電話：(088)26-1101

2025
vol.281
11

牛乳

ジャージー種優等賞首席に輝いた丸山昭博さんの愛牛と



北海道全共

ジャージー種第18部優等賞首席
第19部優等賞三席

真庭市 丸山昭博さん

ホルスタイン種第8部優等賞八席

笠岡市 (株) Farm Luckyhon

第16回全日本ホルスタイン共進会

北海道大会が北海道勇払郡安平町のホルスタイン共進会場で、10月25日から26日までの2日間の日程で開催されました。全国各地からホルスタイン種368頭、ジャージー種32頭、合計400頭が予選を勝ち抜いて出場しました。岡山県からの出品牛はホルスタイン種6頭（未経産3頭、経産牛3頭）ジャージー種5頭（未経産2頭、経産牛3頭）の計11頭の出場となりました。

ジャージー種について、真庭市丸山昭博さんの愛牛「S R J コンツアーバラナ」が第18部 優等賞首席に輝きました。

また、ホルスタイン種については、笠岡市 (株) Farm Luckyhon の愛牛「ラッキーほん クリーム K

ING ルーシー」が第8部 優等賞八席に輝きました。

前回開催の第14回から10年ぶりの開催となりましたが（第15回はコロナ禍の影響で中止）、今大会も素晴らしい成績がありました。主な成績

は、ホルスタインでは第1部で（公財）中国四国酪農大学校の愛牛が一

等五席、第6部で（有）長恒牧場の愛牛

が一等四席、第九部で吉原直樹さん

の愛牛が一等四席、第13部で妹尾優

佳さんの愛牛が一等四席。ジャ

ージーでは第18部で美甘正平さんの愛

牛が一等一席、第19部で（公財）中

国四国酪農大学校の愛牛が一等三席

でありました。

今回の北海道全共の最高位賞はホ

ルスタイン種の部（1部～16部）と

ジャージー種の部（17部～20部）の

中から北海道の木村吉里さんの愛牛「サニーウエイ アストロ マツカチエン」が日本一に輝きました。

全国高校生リードマンコンテストには岡山県立高松農業高等学校から4名出場され、高校3年生の部で小

原杏弥さんが入賞されました。

全日本ホルスタイン共進会多回出

品者表彰式が共進会場で行われまし

た。岡山県では（有）長恒牧場が受賞さ

れました。大変おめでとうございま

す。

北海道大会では輸送中の搾乳が必要でしたが、出発前の入念な準備のお陰もあり、最終的には1時間もかからず手早く完了しました。

皆さんのチームワークに驚きました。

5年後の全共に向けても、改めてチーム岡山で頑張っていただきたいと思います。

（事務局）



岡山県立高松農業高等学校の生徒さん



(公財)中国四国酪農大学校の生徒さん



審査会場

畜産功労者表彰は、おからく組合員では真庭市の三浦一敏さんが表彰されました。獣医師として専門知識を生かし、地域酪農組合長として研修会の開催な

10月11日、第80回岡山県畜産共進会和牛審査および褒賞贈呈式が開催されました。過ごしやすい気候の中、また、雨に降られることもなく行われました。

今年は、乳牛の審査が第16回ホルスタイン共進会に向けての選抜を兼ねたため、9月26日に行われ、褒賞贈呈式には、表彰者のみの参加となりました。

乳用種雄牛の部のグランプリヤンピオンには岡山市妹尾優佳さん出品 ヒールクレスト フューエルスノーワー号が選ばれました。雌らしい骨質と品位ある牛で、乳頭の配置・サイズ、後乳房に優れているとの評価を受けました。

ジャージーチャンピオンの真庭市(有)万庭牧場出品 クイックシルバージョーダン フラウ号とともに表彰されました。また、団体優勝は岡山市となり、岡山県優勝旗が授与されました。



表彰を受ける妹尾優佳さん

(生産支援課)

10月11日、第80回岡山県畜産共進会和牛審査および褒賞贈呈式が開催されました。過ごしやすい気候の中、また、雨に降られることもなく行われました。

今年は、乳牛の審査が第16回ホルスタイン共進会に向けての選抜を兼ねたため、9月26日に行われ、褒賞贈呈式には、表彰者のみの参加となりました。

乳用種雄牛の部のグランプリヤンピオンには岡山市妹尾優佳さん出品 ヒールクレスト フューエルスノーワー号が選ばれました。雌らしい骨質と品位ある牛で、乳頭の配置・サイズ、後乳房に優れているとの評価を受けました。

ジャージーチャンピオンの真庭市(有)万庭牧場出品 クイックシルバージョーダン フラウ号とともに表彰されました。また、団体優勝は岡山市となり、岡山県優勝旗が授与されました。

今年の開催は、和牛と乳牛の審査が別々に行われたため、牛の数が少なく、少し静かな大会ではありますでしたが、来賓の方々も多数お越しになりました。畜産業発展のためには欠かせない行事であり、関係機関一丸となつて盛り上げていけるよう今後も引き続き取り組んでまいります。

どにより農家の経営改善に尽力し、地域酪農業の発展に寄与したことが評価され、知事感謝状が贈呈されました。

第80回岡山県畜産共進会和牛審査および褒賞贈呈式

上期実績の報告について

本年度、全国の上半期生乳生産は、猛暑の影響を受けたにもかかわらず346万3,855t、前年比で101・3%の増産となりました。8月から飲用乳価キロ4円引き上げに伴い、小売価格が牛乳1ℓ当たり10円～20円程度上がり、消費は冷え込んでいましたが、前年比では微減にとどまっています。一方で生乳生産が増産となつており脱粉、バターの加工向けが増え、前年比106・4%、特に脱粉の過剰は深刻となりつつあります。

全国の酪農家戸数は、乳価値上げもあり経営状況に改善が見られます。が、後継者難も加わり、8月段階で9,500戸の大台を割り込みました。

本組合の生乳生産は上期4戸の廃業があったものの、4万5,405t、前年比100・2%、計画比103・1%で推移しています。

下期に向けて今年度事業計画

○生乳生産量 89,000t

○購買取扱数量 59,300t
○流通取扱頭数 7,900頭
の達成に向けて、組合員の皆様のご協力のもと役職員一丸となり事業展開を進めてまいります。

以下に上期の事業実績の概要を報告いたします。

1. 販売事業

生乳取扱計画数量は、89,000tに対し、上期実績は4万5,405t（進捗率51・0%）となりました。生乳販売高は、補給金を含め62億9,919万円でした。基本乳価は、8月の乳価値上げのため昨年上期と比較して1・27円増となりました。年間利益計画3億8,783万円に対し、2億300万円（計画比52・3%）となりました。

2. 購買事業

購買取扱計画数量は、5万9,300t、供給高45億円に対し、上期実績は数量で2万9,577t（計画比49・5%）と減少し、供給高は22億2,523万円（計画比49・4%）となりました。

利益は年間計画の7,519万円に対し、棚卸資産が大きく減少し



たことから2,656万円（計画比35・3%）となりました。さらなる組合の飼料・資材のご利用をお願いします。

3. 流通・育成牧場事業

流通取扱計画頭数79000頭
金額20億2,095万円に対し、頭
数は3,811頭（計画比48.2%）、
金額で11億6,504万円（計画比
57.6%）となりました。年間利益
計画1,821万円に対し1,321
万円（計画比72.5%）となりました。
育成牧場事業は、年間利益計画
54万円に対し、31万円（計画比56.
2%）となりました。

寿命化推進事業費1,029万円などとなっています。

費用合計は、4,746万円（計画比36・3%）なり、上期の収支差額は275万円のプラスとなりました。

5. 酪農ヘルパー事業

利用組合員は122戸 総利用日数は1,842.5日で1戸平均15.1日の利用をいたしました。

平均128・6日の出役日数となりました。臨時ヘルパー職員11名の出役日数は総利用日数の10・0%に当たる184・5日となりました。

4. 生産支援事業

生産支援事業収入の主体は、戸数割・乳量割賦課金となります。これ

8
に當農改善事業収入を含めた上期収入合計は、5,021万円（計画比

38.4%となりました。

費用としては、各活動組織への助成や負担金などの組織活動費が486万円（計画比74・0%）となりま

した。

7. 改良登録事業

ました。改良登録事業の利益は91万円（計画比34・1%）となりました。

8. 凍結精液事業

8. 凍結精液事業

精液854本を取り扱いました。凍結精液事業の差引利益は206万円（計画比36・5%）となりました。

9. 診療事業

10・受精卵移植事業

10 受精卵移植事業

受精卵移植事業は、受精卵移植件数189件（計画比47・3%）で、差引利益は受精卵販売等を含め184万円（計画比39・4%）となりました。

11 経理

上期の貸出金残高は、証書貸出金他3,556万円で昨年度同期に比べ939万円減少となりました。

年間利益計画390万円に対し、

差引利益63万円（計画比16・2%）となりました。

當農改善事業費は4,003万円うち乳質改善費219万円、自家生産牛助成329万円、ヘルパー事業対策費250万円、酪農生産基盤維持費用1,932万円、堆肥舎等長

12 · 事業管理費

本年度計画4億8,682万円に対し、2億3,447万円（計画比48・2%）となりました。人件費については、1億8,229万円（計画比48・0%）で推移しています。さらなる経費削減に努めてまいります。



令和7年度「牛乳・乳製品利用料理コンクール」開催

10月18日、「牛乳・乳製品利用料理コンクール岡山県大会（岡山県酪農業協会主催）」が、岡山市南区浦安本町（公財）岡山県学校給食会で開催されました。

この料理コンクールは、牛乳・乳製品の消費拡大につなげるため、県下の高校生以上を対象に毎年開催しております。応募作品数は493点（昨年度436点）でした。応募作品の中から、9月24日の書



受賞者の皆さんと審査員の先生方

類審査で選出された10名が登場し、1時間の制限時間内で、牛乳・バター・生クリームなどを使い、工夫を凝らした、見た目にもおいしいオリジナル料理を創作されました。

審査は、政木信昭クッキングスクール校長、政木信昭先生、岡山県学校給食会 向井重明先生、岡山県栄養士会 春名美智子先生、岡山県学校栄養士会 杉原京子先生の4名が味や普及性、独創性を基準に行いました。

厳正な審査の結果、最優秀賞は、岡山県立倉敷天城高等学校2年 鈴木勝平太さんの『おいしく栄養チャージ！小松菜のミルキーグラタン』、優秀賞は、岡山県立津山東高等学校1年 鈴木心優さんの『夏野菜のクリームコロッケ風春巻き』が選ばれました。おふたりは、11月15日の中国大会へ出場されます。

「牛乳・乳製品利用料理コンクール 岡山県大会」受賞者
(事務局生乳課)
(敬称略)

最優秀賞
岡山県立倉敷天城高等学校2年 鈴木勝平太
おいしく栄養チャージ！
小松菜のミルキーグラタン

ごぼう香る
具だくさん和風キッシュ

優秀賞
岡山県立瀬戸南高等学校1年 村上 純音
夏野菜の
クリームコロッケ風春巻き
岡山県立瀬戸南高等学校1年 村上 純音
こうや豆腐のクロックムッシュ
岡山県立高梁高等学校2年 上石 香怜
みそ仕立ての
クリーミーシュリンプ
岡山県立津山高等学校1年 萩原 美海
そぞり肉のビーフストロガノフ
岡山県立邑久高等学校1年 小林 美月
サバ缶と切り干し大根の
みそクリームスープ
岡山県立興陽高等学校3年 遠 遙
ミルク洋風お好み焼き
岡山県立井原高等学校2年 辻本 結月
チーズ入り白玉のお焼き
岡山県立倉敷中央高等学校1年 岡田 紗空
廣野 香帆



岡山県立津山東高等学校1年 鈴木 心優さん



岡山県立倉敷天城高等学校2年 鈴木勝平太さん

令和7年度試験研究課題の紹介

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所

今年度、畜産研究所で取り組んでいる2課題を紹介します。

○県内未利用資源を有効活用した堆肥化処理技術の検討

堆肥化処理過程において、おがくずは、水分調整を行うために重要な副資材です。しかし近年、木質バイオマス発電の需要増加や住宅建築の減少などによって、おがくずの安定的な入手が困難になってきているため、代替副資材や発酵促進剤を活用した堆肥化処理が求められています。

そこで、小型堆肥化装置（写真1）

と野外堆肥化施設（写真2）を用いて、県内で入手可能な纖維くず等の未利用資源がおがくずの代替資材として利用可能であるかを検討してい



写真1 小型堆肥化装置



写真2 野外堆肥化施設

そこで、未利用資源を有効に活用することでおがくずのみに頼らない堆肥化処理技術を開発し、資源循環型農業を推進します。

○県産飼料をフル活用！おかやま和牛飼養管理技術の確立

近年、輸入飼料価格は高止まりしており、和牛繁殖経営を安定的に継続させるためには、飼料費の削減が喫緊の課題です。

また、県産飼料の有効活用へ向け



写真3 給与試験の様子

わら類は通常用いられる輸入飼料よりも栄養価で劣るとされていました。そこで今回の試験では、わら類を尿素処理することにより飼料成分や消化性の向上を図ります。そして、尿素処理を行ったわら類を給与取り組んでいます。

た耕畜連携への機運も高まっています。

そこで、稻わらや稻WCS等の県産飼料を活用した低コストな和牛飼養管理技術の確立を目指し、試験に取り組んでいます。

以上、今年度取り組んでいる試験課題について紹介しました。次号では、乳用育成牛への稻WCS給与試験について紹介します。





ビタミン製品『ゼンラクバースケア』のご紹介

全国酪農業協同組合連合会 大阪支所 購買畜産課 大呑瑠莉花

はじめに

いつも大変お世話になっております。ようやく長い夏が終わったと思ったら一気に寒になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。乳牛を飼養するうえで必ず訪れる「分娩」ですが、分娩前後の母牛へのビタミン給与は充足していますでしょうか。今回は分娩前後に給与するビタミン製品『ゼンラクバースケア』について紹介したいと思います。ビタミンについても記載しておりますのでお手すきの際に見ていただけますと幸いです。

『ゼンラクバースケア』の特長

ビタミンA・D3・E、 β -カロテンをバランスよく大量に補給できる分娩前後用のビタミン製品です。1袋(100g)にビタミンAは500万IU、ビタミンD3は250万IU、ビタミンEは1万mg、 β -カロテンは200mg入っています。特殊乳化処理によりビタミンの腸管から体内への取り込みと肝臓への蓄積性が期待できるため、肝障害により胆汁分泌機能が低下した牛でも吸収しやすい製品です。また、アルミ個包装でかつ微粒カプセル状にコーティングされているため、ビタミンの安定性や保存性が高く、長期保管ができます。製品は100gずつ包装されているため、1回1袋で使い切り、ゴミも少なく済みます。分娩予定日3週前と分娩直後に1袋ずつを飼料に混合して給与します。



特殊乳化ビタミンについて

ビタミンA・D3・Eは脂溶性ビタミンであり、特殊乳化ビタミンとは本来は水に溶けない脂溶性ビタミンを乳化剤でコーティングし、水になじみやすく加工したものです。脂溶性ビタミンの吸収は通常、肝臓で合成された胆汁（水、油のどちらとも混ざる）が小腸に入り、脂溶性ビタミンと混ざったのち、リンパ管をとおり、肝臓で代謝され、全身へ運ばれます。しかし、分娩後に肝障害が起きている場合、胆汁の分泌ができず、脂溶性ビタミンがうまく吸収できない可能性があります。『ゼンラクバースケア』は特殊乳化処理をしているため、胆汁が無くても血液やリンパ液とうまく混ざることができるため、吸収が可能となります。

各ビタミン、 β -カロテンのはたらき

ビタミンA：上皮組織を正常に保ち、免疫機能を維持する働きがあります。粘膜上皮細胞の表層にはムチンとよばれる粘液の層があり、外部からの病原体の侵入を阻止する物理的バリアとなっています。

ビタミンAは、このムチンの産生を助けます。粘膜は体のあらゆるところに存在します。消化管の粘膜の防御が弱くなれば病原体の侵入を許してしまって下痢になり、乳腺の粘膜のバリアが弱くなれば乳房炎になってしまいます。

ビタミンD3：腸管からのカルシウムの吸収と血中のカルシウム濃度を調整します。初乳中に多量のカルシウムが分泌されるため、分娩前後の必要量は多くなります。不足し、血中カルシウム濃度が維持できなくなると、乳熱や起立不能になる可能性があります。ビタミンD3は日光浴によって動物の皮膚で作られますが、十分な日光浴ができる環境でない限りは給与する必要があります。

ビタミンE：抗酸化物質として機能するほか、細胞膜の維持、免疫、繁殖機能に関与しています。また、乳の酸化安定性や風味にも関係しています。

β -カロテン：ビタミンAの前駆体としての機能以外にも、 β -カロテン独自の機能を持っています。牛の「黄体」は文字通り黄色をしていますが、これは β -カロテンを蓄えているからと言われています。 β -カロテンは、卵巣における酸化ストレスを緩和させ、黄体細胞での黄体ホルモン分泌を助けます。

分娩前後のビタミン給与の重要性

搾乳牛のビタミン要求量はNASEM2021では体重700kgでビタミンAが95,125IU、ビタミンD3が28,000IU、ビタミンEが568IUとなっております（体重、乳量等により変動します）。牛は胎盤の構造上、免疫グロブリンと同様に、胎児は母牛の体の内でビタミンをもらうことができません。子牛はビタミン



不足の状態で産まれてきます。そのため、初乳からビタミンを摂取する必要があります。初乳中のビタミンAは常乳と比較し10倍、ビタミンD3は3倍、ビタミンEは6倍も含まれています。胎児に与える分だけでなく、母体を分娩から回復させ次の繁殖に備えるためにも、分娩前後はビタミンの要求量が増加します。そこで、この時期に高濃度ビタミン製品を給与し、ビタミン不足を防ぐことで順調な生産につながります。

すこやカプセルとの違いについて

表1はゼンラクバースケア100gとすこやカプセル6粒を比較したものです。暑さが落ち着いた直後の分娩や過肥牛の分娩時には、肝機能が低下しやすくなります。この時期には、ビタミンD3によるカルシウム吸収の促進や、 β -カロテンによる卵巣機能の回復が重要です。

分娩前後のビタミン補給には、『ゼンラクバースケア』がおすすめです。

乳化処理されているため水に溶けやすく、味噌湯やアクアチャージと混ぜて給与することも可能です。

	ゼンラクバースケア（1袋：100g）	すこやカプセル（6粒）
ビタミンA	5,000,000IU	4,800,000IU
ビタミンD3	2,500,000IU	240,000IU
ビタミンE	10,000mg	2,400mg
β -カロテン	200mg	○
形状	粉末	カプセル

表1 『ゼンラクバースケア』と『すこやカプセル』の比較

おわりに

最後まで読んでいただき、ありがとうございます。分娩前後の母牛の健康維持に『ゼンラクバースケア』を使用してみてはいかがでしょうか。現在、11月30日納品分までを対象として『ゼンラクバースケア』のキャンペーンを実施しております。気になる点や不明点等ありましたらお近くの全酪連職員へお問い合わせください。今後ともよろしくお願ひいたします。

分娩前後用ビタミン

ゼンラクバースケア®

牛用混合飼料
規格：100g×10包

ビタミンA 5,000,000IU ビタミンD₃ 2,500,000IU ビタミンE 10,000mg β -カロテン 200mg
(100g中)

分娩前後はビタミンの要求量が高まります。

適正なビタミン給与で繁殖機能、免疫機能を維持しましょう！

9月1日～11月30日 納品 1,700円引き！

ゼンラクバースケア®の特長

- ・ビタミンをバランスよく大量に給与可能！
- ・特殊乳化処理によりビタミンの腸管から体内への取り込みと肝臓への蓄積性◎
- ・肝障害により胆汁分泌機能が低下した牛でも吸収性◎
- ・微粒カプセル状にコーティングされて安定性・保存性◎
- ・使いやすい100gのアルミ個包装

それぞれの働き

ビタミンA	上皮組織を正常に保ち、免疫機能を維持
ビタミンD ₃	カルシウム代謝に関与
ビタミンE	抗酸化物質として繁殖機能の維持
β -カロテン	ビタミンAへの転換

原材料名

ブドウ糖、乳糖、ステビオサイド

給与量と給与方法

分娩予定日の約3週前と分娩直後に1袋ずつ
飼料に混合して給与

全国酪農業協同組合連合会
大阪支所 06-6305-4196
中四国事務所 0868-54-7469

近畿事務所 0794-62-5441
三次事務所 0824-68-2133





寒冷ストレス対策をしよう！

暑い～、異常気象だ～と、ついこの前まで騒いでいましたが、いつの間にか毛布とこたつにお世話になる季節がやってきました。季節の移り替わりは早いですね。

さて、乳牛は比較的寒さには強く、温暖な気候の岡山県では北海道のような寒冷地対策までは必要ないかもしれません、牛も寒いものは寒いんです。

★寒さのストレスはどれくらいから？★

牛の快適気温 = 4℃～24℃（特に13℃～18℃が最適）とされています。

寒くなると牛は体温を保つため多くのエネルギーを利用します。本来牛は分厚く密度のある冬毛をもとい寒さに耐えるようになっています。しかしその準備には時間を要します。また、耐寒性には牛舎構造や環境も大きく影響し、被毛の状態によりますが、0℃～7℃から始まると言われています。

冬の初めに気温が急激に低下した場合、被毛の準備が間に合わずダメージを受ける場合があります。

気温が0℃以下までに低下すると、いくつかの生理的变化が起きる

- ・牛が体温を必要とする維持エネルギー量が10%以上増加
- ・食欲が促され、飼料をもっと食べようとし乾物摂取量が5～10%増加
- ・水が冷たいと飲水量は減少

⇒摂取エネルギーが体温の維持に利用されたり、飲水量が減少すると最終的に平均乳量は低下

しかし、驚くべきことに、乳牛は外気温が-5℃になっても乳量を維持し続けます。これは、体温や乳量を維持するために体重を落としている（体脂肪の導引）ことを表しています。

寒冷ストレスは、牛が周囲の低温により体温維持に余計なエネルギーを消費する状態。下臨界温度（LCT：Lower Critical Temperature）を基準に対策を打ちましょう。LCTより気温が低くなるほど、維持に必要な代謝量が上がりその分だけ飼料からのエネルギーが必要となります。

区分	LCTの目安	備考
新生子牛～1カ月齢	約15℃	風速や湿度により変化
子牛（1カ月齢～離乳）	約1～10℃	年齢により変化
育成～泌乳牛（BCS良好）	約-5～-25℃	給餌量、BCSで変動
乾乳・妊娠後期・低BCS牛	約-10～5℃	管理上特に注意が必要

※あくまでも寒冷ストレスを受ける目安であり、地域や個体差がある

★代謝や乳生産への影響★

外気温	維持エネルギー	乾物摂取量	飲水量	日乳量
10℃	100	100	100	100
5℃	103	100	100	100
0℃	110	101	96	100
-5℃	118	106	94	100
-10℃	126	109	87	93
-15℃	133	111	82	80

※平穏時を100%としたときの、寒冷ストレスの泌乳牛の要求量及び生産成績

★寒冷ストレス下で生産性を保つ管理のポイント★

1. 牛床の管理

- ・牛の冬毛は寒さに対する最初の防御機能
- ⇒牛床を清潔に清掃し乾燥した牛体を保つ



2. 換気の確保

- ・牛の体温が奪われない程度の換気を保ち、新鮮な空気を常に吸えることが重要
⇒二酸化炭素やアンモニアガスを排出させ肺炎や乳房炎の予防（免疫力低下防止）

3. 飼料の調整

- ・サイレージの乾物率を継続的に頻度よく分析
⇒乾物率に基づいて飼料計算することによって粗濃比のバランスを確実に保つ
通常より乾物摂取量を増加させる
⇒BCSや乳たんぱく率の減少は充分なエネルギーを摂取できていないことを示す
⇒越冬飼料への変化や飼料摂取量の急劇的な増加は消化ストレスを与えるため、機能が証明されているルーメン酵母の給与がお薦め
- ・乳量を維持するためには飲水量を確保することが重要
⇒ウォーターカップや水槽が凍っていないか、飲用水が清潔に保たれるよう清掃や水の入れ替えはできているか
⇒牛の好む水温は17°C～28°Cとされている
冷たい水は第1胃の微生物の活動を妨げ発酵を遅らせ、下痢の原因にもなる
特に寒い冬場は体温と同程度の39°C前後まで加温するのが理想。10°C以下の水は飲水量の低下を招き乳生産の低下を招く

4. 保温対策

- ・隙間風の防止、牛舎内の保温、ヒーターやカーフジャケットの使用など牛が寒さから守られるよう保温対策が必要となる

5. 環境の改善

- ・牛舎の構造や環境を改善し、牛が快適に過ごせるようにする
- ・風速は体感温度を大きく下げるため、直風を当てない
- ・換気し牛舎内や牛体を乾燥させる（換気は結露対策にも有効）

6. ベッディング（敷料）の管理

- ・乾いた敷料は有効な断熱材となるため敷料の厚みを増やし濡れたら速やかに交換する運用ルーティーンを構築する

7. 管理と記録（モニタリング）

- ・日々のBCS記録、乳量トラッキング、気温・湿度を計測し、閾値を超えたアラートが出る体制を作ると対応が早くできる

★子牛（新生子牛）の特別対策★

- 子牛の下臨界温度は高く、新生児では15°C前後がLCTの目安となります。
- ・保温器・カーフジャケット：体温保持を優先し、保温器具やジャケットを利用
- ・寝床の保温：パレットや断熱シート、乾いた厚めの敷料を入れる
- ・給餌の增量：室温が低下した場合、ミルクやスターの量を微増させるのが有効
- ・通気：換気は必要だが直接風が当たらないように工夫

まとめ

- ☆寒冷ストレスは「LCT（下臨界温度）」を基に判断し、有効温度が下がるほど追加エネルギーが必要
- ☆子牛は特に脆弱で、新生児は約15°C前後で保温対策が必要
- ☆現場対策の優先順位は「風よけ・乾燥敷料・給水の凍結防止・飼料のエネルギー密度向上」
- ☆目安としてLCT以下1度ごとに追加TDNは約1%を想定し段階的に飼料を増やす
- ☆敷料管理と換気の両立て結露を防ぎ、疾病リスクを下げる
- ☆簡易コスト試算では追加飼料費、敷料費、加温費を考慮し、乳量回復や疾病減少で数ヶ月以内に回収できる可能性あり
- ☆毎日のBCS、乳量、環境データを記録し、閾値超過時に即対応するモニタリング体制が重要

（参考資料）

酪農における寒冷ストレスガイド

（事業本部）

第44回勝央町金時祭

10月12日、「第44回勝央町金時祭」が勝央文化ホール周辺で開催されました。

金時祭のいわれは、童謡の「金太郎」のモデルとされる「坂田金時」が、岡山県勝央町で生涯を閉じたことによ来しています。勝央町では、坂田金時の終焉の地として、その功績を称え、産業振興と地域活性化を目的に「金時祭」を開催しています。

勝央町酪農組合では例年通り、1,600本の牛串を販売し、勝央町酪農女性部ではポップコーン販売

と牛乳のプレゼントをしました。昼

には、完売するほどの大盛況でした。そして、模擬牛の「ミルキー」による搾乳体験も実施し、お祭り終了まで子どもたちに囲まれて大盛り上がりでした。

このようなイベントを通じて、生産者が消費者に「酪農」をアピールできることは、大変素晴らしい意義のある活動であると思いました。今後もこのような交流の場を大切にしていきたいです。

(勝央町酪農組合・勝央町女性部)

びほく地区フレッシュユミズ交流会

10月22日、「びほく地区フレッシュユミズ交流会」を開催しました。

今回は、高梁市内の『雲白（くもじろ）』というお店で、美味しい豆腐料理をいただきながら交流を深めました。

びほく地区のフレッシュユミズ会員は全員で4名と少ないのですが、年齢が近いこともあり共通の話題も多く、子どものこと、自身の悩み、たまに夫の愚痴（笑）などなど、話が尽きることなく時間が過ぎ……とうとうお店も追い出され、2軒目に移動（笑）その後も話が尽きることないといった感じです。（びほく事務所）



豆腐料理はカロリーゼロ!?



勝央町内の幼稚園生の行列



牛乳を配布

10月26日、「第41回美星ふるさと祭り」が星の郷ふれあいセンターで開催されました。美星の酪農家3戸で、昨年に引き続いてのイベント参加となりました。

酪農のブースでは、牛乳プラス運動で丈夫な骨を作ろうという牛乳の機能性を伝えるチラシと牛乳を配布して、来場者に牛乳の消費拡大とイメージ向上を訴えました。

天候が心配されました。イベント開始時点までは雨が止んだので、多数の来場者にお越しいただきました。酪農家の皆様やそのご家族にお手伝いいただき、盛況に終わることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

(備南事務所)

美星ふるさと祭り

10月26日、「第41回美星ふるさと祭り」が星の郷ふれあいセンターで開催されました。美星の酪農家3戸

で、昨年に引き続いてのイベント参

加となりました。

酪農のブースでは、牛乳プラス運動で丈夫な骨を作ろうという牛乳の機能性を伝えるチラシと牛乳を配布して、来場者に牛乳の消費拡大とイメー

ジ向上を訴えました。

天候が心配されました。イベント開始時点までは雨が止んだので、多数の来場者にお越しいただきました。酪農家の皆様やそのご家族にお手伝いいただき、盛況に終わることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

天候が心配されました。イベント開始時点までは雨が止んだので、多数の来場者にお越しいただきました。酪農家の皆様やそのご家族にお手伝いいただき、盛況に終わることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

天候が心配されました。イベント開始時点までは雨が止んだので、多数の来場者にお越しいただきました。酪農家の皆様やそのご家族にお手伝いいただき、盛況に終わることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

ご結婚おめでとう

(一財)おからく教育振興会



藤本 春香さん
(備南地区 三宅安史氏
後継者)

お二人は令和7年7月7日に入籍されました。

今後ますますのご活躍と末永いお幸せをお祈りいたします。

おめでとうございます。

あることを指摘されたため、規程の一部について変更することを確認し、承認した。

○報告事項

定例監事監査の日程について、未収金利息の免除について、おかやまミルクフェア実施概要について報告した。

理事會報告

9月29日、第305回理事会を理事9名、監事3名が出席し、開催した。

檜尾組合長より酪農一般情勢等について報告された。

その後、次の事項を協議し、決定了。

○令和7年度生乳需給安定化対策について

令和7年度8月の生乳需給安定化対策の進捗状況等について報告した。

○就学資金交付規程について

就学資金交付規程について、顧問弁護士より労基法に抵触する恐れがあ

人 事

採用

(令和7年11月1日付)

光宗 憲一(総務部
総務経理課)
(臨時職員)



ひろば

生乳課 姉尾 明美

私の趣味の一つ!

唐突ですが、レカントラワーってご存じでしょうか? レカントは、フランス語で『宝石箱』を意味する言葉です。

生花を自然な立体感のまま、色や形を保つように乾燥剤で乾燥させ、密封技術により額やボトルなどに入れて飾るフラワーアレンジメントの一種です。

レカントは、花の美しさを長時間楽しむことができる『花の宝石箱』とされています。

水分と人工的な着色液をすり替え、半永久に楽しむことができる

のがプリザーブドフラワー。

レカントフラワーは、プリザーブドフラワーとは異なり、立体的な形状と生花に近い鮮やかな色のまま残せるのが特徴です。

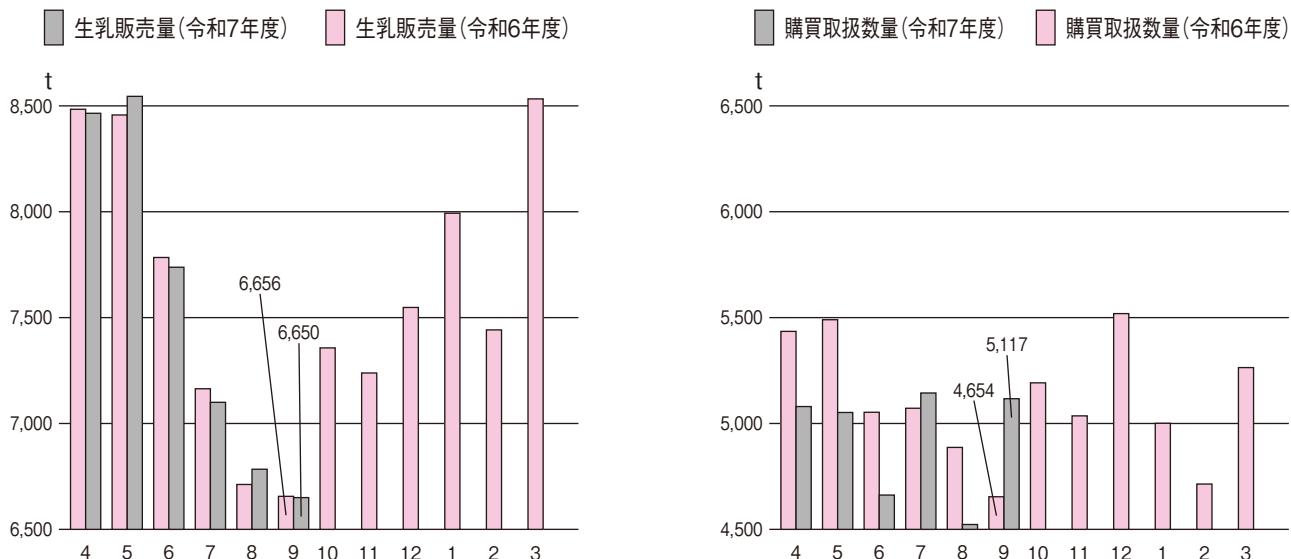
14年ほど前、娘の同級生のお母さんのアトリエでレカントフラワーに出



会い、そこから作品作りを始めました。年に一度、岡山で発表会があり、作品展示に出品したことあります。

花に興味がある人は、ぜひ一度、作品作りに挑戦してみてはいかがでしょうか。

おからく事業実績



生乳統計

※中央酪農会議速報より抜粋

地域	月	受託乳量(トン)	用途別処理量(トン)			前年比(%)		
			飲用乳等向け	乳製品等向け	その他	受託	飲用	乳製品
全国	9 4~9	538,255 3,463,855	290,198 1,693,530	111,535 908,388	136,522 861,905	100.6 101.4	99.7 99.3	101.6 106.4
岡山県	9 4~9	6,650 4,5283	6,522 4,2227	63 2,473	65 583	100.1 100.1	99.9 99.1	91.3 115.6
北海道	9	322,038	83,285	106,340	136,350	101.1	99.5	102.2
								100.0



主な行事

11月

- 1日 おかやまミルクフェア2025
- 6日 定例監事監査（～7日）
- 11日 業務委員会
- 12日 総務委員会
- 13日 酪友フォーラム（～14日）
- 21日 管理職会議
- 28日 理事会

12月

- 1日 会計実施検査（～5日）
- 8日 女性部全体交流会
- 11日 女性部フレッシュミズ視察研修
- 19日 管理職会議
- 25日 理事会
- 29日 仕事納め

10月については、通常の回転需要に暑熱事故の代替え需要が一定程度見られたものの、資源が若干増加傾向にあつたなか、前月からの値上がりに対する様子見感から、初妊牛平均価格は税込60万2千円（前月比2万5千円安・前年比16万5千円高）と値下げ傾向に推移しました。11月については、乳用牛に対する人工授精統計から来春の資源減少が見込まれるなか、回転需要に加え春分娩の早期手配の動き等により、初妊牛相場は、強含みでの価格展開が予測されます。

北海道初妊牛価格